

総合交通政策調査特別委員会

(平成25年5月2日)

豊田政典委員長

皆さん、こんにちは。

総合交通政策調査特別委員会を開始いたします。

傍聴の方が、市民の方、報道の方、合わせて11名入られております。

本日で、一つ目のテーマであります近鉄内部・八王子線の存続について、この後、報告書案を皆さんにもんでいただいて、区切りと、終わりとしたいと思っておりますので、私から傍聴の市民の皆さんには熱心に傍聴いただいたことを御礼申し上げたいと思いますし、また、報道関係の方につきましては、報道を通じて市民の関心を高めていただいたことを感謝したいと思います。報道の皆さんには、委員会の中には流れというものもありますし、市民に対する影響も大きいことを鑑みて、委員会の一部の発言や一場面を切り取って報道していただくと影響も大きいことをぜひ考慮いただき、全体的な流れを把握した上での報道というのに心がけていただくことを私からお願いしておきたいと思っております。

それでは、事項書を見ていただいて。一つ忘れまして。伊勢新聞さんから写真撮影の要請が来ておりますが、これを認めていきたいと思っておりますけど、よろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

それでは、本日は近鉄内部・八王子線の存続についてという議題にしたいと思っておりますし、事項書の2番に今後の日程がありますので、またご調整のほどよろしくお願いしておきたいと思っております。

近鉄内部・八王子線の存続につきまして、前回お約束しましたとおり報告書(案)をつくって皆さんに配付しております。お配りの中のインデックスという形でこんな構成でつくりつつあります。それから、ホチキスどめのところを今からご協議いただきたいと思います。全部はまだできておりません。一部サンプル的に出させていただいたのみでございますので、そのことをご了解の上、説明をさせていただきますのでお願いいたします。

まず、インデックス、目次です。

目次として1、2、3、4、5という構成を考えております。後ほど見ていただきます

が、1番として委員会の設置経緯と目的、2番、調査研究の概要、3番、開催日程及び各回の概要、これは事務局に手を煩わせてつくっていただきました。4番、委員会の調査研究のまとめとして、前に確認しましたように(1)(2)(3)(4)という区分でまとめつつあります。ここがまだでき上がっておりませんので、一部を後ほど示したいと思います。5番として委員会からの提言という形で、前回いろいろと皆さんから意見をいただいたり、意見交換、議論をしていただいた部分のまとめ、ここが一番ご了解いただけるかということですので、一番最後にご議論いただきたいなと思います。

このインデックス、構成については現時点で了解いただけますでしょうか。

まだ中身を見てないからと。では、こういうことをちょっと頭に置いていただいた上で、ホチキスどめのほうを見てください。

タイトル、総合交通政策調査特別委員会第一次報告書(案)となっております。第一次というのは、近鉄内部・八王子線が終わったら、バス交通であるとかそのあたりへ入っていきますので、二次もあるという意味です。

調査研究課題は、近鉄内部・八王子線の存続について。

1番に委員会の設置経緯と目的、それから、2番に調査研究の概要というのも文章にしてみましたので、読み上げると時間がかかりますので、済みませんが、今から黙読をしていただく時間にさせていただきたいと思いますので、ざっとそれぞれ目を通していただいて意見を伺うというふうに考えております。

じゃ、読んでください。

今、1番、2番を読んでいただいています、その間、説明者としてはいつもどおり都市整備部から入っていただいております。

おおむね読み終えたと思いますが、よろしいですか。1番、2番だけです、今。

それでは、1番、委員会の設置経緯と目的、2番、調査研究の概要という文章のところ、そこについてご意見があれば出してください。

小林博次委員

まず、最初の特別委員会の第一次報告書(案)と書いてあるんやけど、第一次とか第二次とかと違って、特別委員会報告書にするべきやと思うんです。ですから、第一次報告書の削除。

それから、委員会の設置の経緯と目的の経緯の中で、近鉄内部・八王子線が近鉄側から

廃線を提案されているということを受けてこれを設置しているわけで、少し書き出しが違
うと思うんやけど。そこのところを挿入してもらおうとええと思うんやけど。

豊田政典委員長

その2点ですか。

小林博次委員

意見じゃなくて、そういうこと。

豊田政典委員長

2点、2点の意見。

小林博次委員

意見ではなしに、そういう位置づけで始まっているわけやから、そこのところを記入し
ておいてほしい。

豊田政典委員長

1点目、タイトルですよ。第一次にせずに報告書とせよと。最初に言いましたように、
近鉄内部・八王子線が終わったらバス交通と、それから、総合的な公共交通ということで
続きますやろう。そんな意味で一次にしているんですけど、それでも。

小林博次委員

皆さんがそういうことならやむを得んけど。そうでなければ報告書にかえるべきだと。

豊田政典委員長

タイトルですけど、今のご意見もありましたが、第一次、第二次もあるという意味でつ
けましたが、この点についてご意見をいただけますか、じゃ。どうでしょう。

第一次のままでよろしいですか。

(異議なし)

豊田政典委員長

じゃ、これはそのままにさせていただいて、それから、2点目の経緯ですよ。こういった1段落目の一般的なところではなくて、もっと近鉄が廃線のことを四日市市へ投げかけたみたいなの、そんな経緯にしたほうがわかりやすいんじゃないか、直接的ではないかという意見だったと思いますが、これについてはどうでしょう。

加藤清助委員

だから、さっき小林委員が言われたみたいな中段のところ辺に、本市議会ではこうした流れを受けてとありますよね。だから、こうした流れの前提は、全体的なこういう一般的な状況があるんやけど、加えて、何年の1月やったかな。平成24年1月ごろやったっけ、文書的なやりとり。

館都市整備部理事

平成24年1月です。

加藤清助委員

そうだったね。この委員会ができる前にそういう近鉄側からの表明というか、あって、それを受けて、この特別委員会の設置に至ったという部分を加えたらええのかなというふうに読み取りましたが。

豊田政典委員長

お二人からそういった意見ですけれども、そのようにさせてもらっていいですか。まず、入れるということ。

(異議なし)

豊田政典委員長

その前段部分、一般的な話は入れておいたほうがいいですか、消したほうがいいですか。1段落目、2段落目、一般的というか、残したほうがいいか、もう消しちゃうか。

石川善己委員

1段落目はなくてもいいのかなと思うんですけど、2段落目に関しては、慢性的な道路渋滞であるとか、公共交通の利用も減少するという文言も入っているので、あったほうがええのかなという気はするんですが。

豊田政典委員長

ほかにどうでしょう。

副委員長はこれを読んでいませんので、きのうぎりぎりでできましたので、まだ見てもらってないので、意見をいただきます。

森 智広副委員長

そもそも設置目的自体のことですので、この特別委員会で近鉄内部・八王子線に絞ってやるかどうかという議論が議員政策研究会のときにもあったと思うんですけども、総合交通というテーマで取り扱うということにしたので、一般的な大枠の話もないと設置目的として合致してこないのかなとは思いますが。

豊田政典委員長

1段落目、2段落目は残すということですか。

森 智広副委員長

あってもいい。

豊田政典委員長

あってもいいじゃないか。

小林博次委員

別に取りれと言っているわけじゃない。一番の目的が近鉄内部・八王子線の近鉄側からの問題提起やから、そこのところが一番先に来て、あと流れを書けばいいのと違うかなと。別にこの文章のままで加筆してもええけどということです。邪魔くさければ加筆だけで。

諸岡 覚委員

非常によくできた文章だと思いますので、別に削るところはないかなと思います。

ちょっと委員長にお聞きしたいんですけど、これは一次報告書で、またバスが終わった段階で二次報告書ができますよね。二次報告書のところでも同じようにこの設置経緯と目的という項はつくられるおつもりですか。

というのは、これだけやとバスのことが全く議論になかったみたいな、目的の中にね。ほんのさわりでちらっと書いてあるだけやもんで、後日の二次報告書のところでまたきちり書き込むんやったら、これはこれで問題ないと思うんですけど、これは完成形で二次報告書には載せやんよと言うのであれば、もう少しバスを入れてもらわんとあかんかなと思うんですが、目的のところ。

これはあくまでも近鉄内部・八王子線のやつだから、これはこれでええとは思いますが。あとの報告書の書き方次第だと思うので。

豊田政典委員長

そうしたら、確かに経緯の中でバスを扱うということは決まっていますから、それも入れば、今のやつももちろん入れて、1段落目、2段落目も全体的な部分なので残すとして、二次報告書では、委員会の設置経緯はもうここに書いたもので、それは書かずに、バス以降のことだけを加筆すると。そんなふうにさせてもらうのでどうでしょう。

諸岡 覚委員

いいです。

豊田政典委員長

いいですか。じゃ、1段落目、2段落目を残しつつ、先ほど小林委員ともう一人、意見をいただいたように近鉄の表明の直接的な経緯のことを加筆するというので、石川委員もよろしいでしょうか。

石川善己委員

はい。

豊田政典委員長

ありがとうございます。

1 番の設置経緯と目的はそのようにさせていただきたいと思います。

2 番の調査研究の概要についてはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

ありがとうございます。

それでは、3 番ですが……。

小林博次委員

これは経過が書いてあるんやけど、これはまとめの本文と違って資料になる部分やと思うので、だから、順番として表があって、それから、委員会の調査研究のまとめがあって、委員からの提言があって、その後、資料編みたいの中にこの日程が入るとというのが合理的やないのかなと思うんやけど。

豊田政典委員長

3 番ですよ、3 番を後回しでいいと。後ろへ持っていく。

では、そこ、3 番へ行きます。

3 番には、今、ご指摘いただいた部分ですが、開催日程及び各回の概要ということで、一番最初は正副委員長の互選だったので回数に数えていないのです。資料も 2 回目から第 1 回になっていますので、そういうふうになっています。第 1 回から、前回は第 17 回でした。それぞれのポツ点のところが議題みたいな感じで、その後に文章で主な内容というのを今までのまとめから要約した形で委員会の概要というふうになっています。

ざっと見ていただいて、第 17 回のところは前回です。

第 18 回がきょうなんです、これも入れたほうがええんかな。報告書(案)の検討、確定ということで、第 18 回を追加してください。

そんな部分が 3 番なんです、今、小林委員からご指摘いただいたのは、それは最後に

資料編のところにつけたらどうだというご意見です。なるほどなと私は思いましたが、その修正でよろしいですかね。

(異議なし)

豊田政典委員長

中身もこれでよろしいですか。

諸岡 覚委員

(7)の委員会の概要のところ、真ん中あたりで、また、本委員会は鉄道存続のために設置された委員会であることを再確認し、そうじゃなくて、本委員会においては、近鉄内部・八王子線については鉄道存続のために議論すべきことを再確認したのであって、委員会の設置目的がこれではないですよ。委員会の中では存続のために議論しましょうという確認をしたのであって、これを存続させるためにつくった委員会やという書き方ですよ。総合交通って一番最初に書いてもらってありますので、ここの確認は鉄道部分に関してはこういうことを議論しましょうという確認でした。

豊田政典委員長

修正文案って言えますか。

諸岡 覚委員

よろしいでしょうか。また、内部・八王子線に関する議論は、鉄道路線存続を目的とした議論をすることを再確認した。

豊田政典委員長

ありがとうございます。

諸岡委員の意見のとおり直す形で、よろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

じゃ、今の方向で直させていただきます。

まだ読んでもらっていないですね、そういえば。少し読んでもらえますか。3の部分です、今。各回の概要。第1回から第17回プラス第18回。

基本的に今まで各回のまとめ、もっと長いやつを了承していただいたやつ 요약版と申してください。

傍聴が1名、さらに入っていました。

それじゃ、まだの方もみえるかもしれませんが、内容について修正意見があれば出してください。

加藤清助委員

公表されますよね、これ。我々は何回も耳にたこができるほど聞いたけど、BRTってよう出てくるんやけど、これの注書きぐらいは入れておいたほうがええのかなと。BRTと出てくるのは、LRTとか、それから、小林委員がよう言うておったデュアル・モード・ピークルとかさ。ここでやっておる人はうんと思ってやっておるけど、市民的には何なんそれとなるから、その定義づけはきちっとしておいたほうがいいかなと思いました。

豊田政典委員長

ありがとうございます。

そのようにしたいと思いますが、今言われたBRT、LRT、デュアル・モード・ピーグル以外に今思いつくものがあれば教えてください。

諸岡 覚委員

思いついたということじゃなくて、加藤委員が言われたのはそのとおりやと思うので、その資料編のところの最後に用語解説集か何かをつけてもらえばええんかなと思って。

豊田政典委員長

こっちへ任せてもらえますか、用語については。

(異議なし)

豊田政典委員長

それは資料編でつけることにします。

ほかにご意見はありますか。よろしいでしょうか。

(なし)

豊田政典委員長

それでは、3番までそういうふうにしまして、3番は後ろへ持っていくと。

4番は、もう一度インデックスを見ていただきたいのですが、委員会の調査研究のまとめというタイトルにしまして(1)から(4)まであります。

よく聞いてほしいんですけど、(1)のところ、事業経営主体・形態のあり方ということで、1)関係資料及び質疑応答ということをつくっていくんですけども、関係資料が幾つか出てきました。ほかのやつもまとめ方は同じなのですが、まだできていないんです、ここ、サンプルも。

一つ、まとめだけ書いてみました。鉄道として存続する場合云々のところですよ。このまとめがあって、それから、各回の中で経営主体・形態についての資料請求がありました。資料をつけて、それに対する質疑応答というパッケージでぼんぼんぽんと置いていこうという、そういう提案です。やり方です。

(2)については、補助の部分ですが、これもまだサンプルが未作成です。同じつくりで、資料プラス質疑応答という構成でつくってみたい。

(3)事業経営の改善策(比較的早期にできる事項)は一つサンプルをつくってもらいました。項目としては、 から次のページの 、 、 、 というのが今まで議論してもらったやつを見直したら7項目あったので、7項目については同じつくり方をしたいなということです。

サンプルとして 鉄道運賃・定期の割引率ということで、そこに文章を、今までの議論のまとめの文章をサンプルとして出しました。その中に途中で別添資料 とか とか、それから、 までありまして、今まで委員会資料として出してもらった資料をくっつけると。これが後ろの資料のところの資料1、2枚めくってもらったところに資料1というのが、丸はついていませんが1、2、3、4というのがこの文章にくっついてくると。ですから、

その文章と資料をパッケージにしたやつが の鉄道運賃・定期の割引率という構成になります。

同じつくり方で。 がないな。番号の打ち間違いやね。 、 、 、 、 の数字をかえてください。 、 、 、 、 全部で6項目です、この項は。イベントの実施について資料と文章がくっついてくるというのを繰り返して まで、他市の取り組み事例が になりますが、そんなつくりを考えております。

同じように、後で読んでもらいますが、(4)環境整備についても 沿線未利用地の利用については文章と後ろにくっついている資料5、6がパッケージでついてくる。項目としては、次のページの 、 、 、 、 、 L R Tやデュアル・モード・ビークル、B R Tまで資料と皆さんのやりとりを文章としてまとめていきたいなというまとめ方でどうかという提案でありますので、少し文章を読んでください、サンプルの。

それでは、このまとめ方ね。大きな4番、委員会の調査研究のまとめ、(1)から(4)を同じ方法でつくっていきたくと思っています。今から意見をいただいて修正もしていきたい。

小林博次委員

4のまとめやけど、委員会の調査研究のまとめ、4ね。こんなふうやっていくと全然わからなくなってくるので、例えば、イベントを実施したり、中心市街地の活性化と関連させたり、四日市市の観光戦略と関連させたりということで近鉄内部・八王子線を残すというような表記にかえるほうが読みやすいと思うんやわ。必要なものについては、別項で資料として提供しておく。でないと、これを読んでおってもわからんようになると思うね。だから、報告書を論議したことの大きさを報告書に入れていくわけやから、文章的にずつつながっていくほうがいいと思うよ。

イベントを実施する、未作成って言ったって、イベントを実施したりして利用客の増進を図るべきやという提言をするけど、どんなことをどうするかというのはまた別の次元で論議すべきことやと思うよ。この場所でそんなところまで踏み込む時間的ゆとりはないわけやから。

ほかも同じようなことやわね。基金の設置とか、いろいろありますやん、観光戦略とか。こんなところまでは別の委員会でやってもらって、ここでは観光戦略に組み込んだり、基金をつくって対応したり、そんな表現のほうがわかりやすいと思うよ。

豊田政典委員長

説明不足だったと思うんですけど、未作成というのは、文章ができていない、報告書ができていないという意味なんですよ。これからやるということじゃなくて、議論することじゃなくて。

鉄道運賃・定期の割引率だけつくってみましたけど、まだ時間的にできていないんですという意味なんです。だから、イベントの実施以降についても、文章と資料で構成していきたいなという、そんなことなんですけど。

それでよろしいですか、違う。

小林博次委員

一般市民が読んでわかりやすいようにしないと、まずいと思うよ。

豊田政典委員長

わかりにくい。

そうしたら、例えば、（３）事業経営の改善策（比較的早期できる事項）というタイトルがあって、その次にもっと説明文を入れましょうか。こんなことを議論して、それをもって近鉄内部・八王子線を存続していく手だてにするために議論したと。説明をもうちょっとわかりやすくする方向でどうですか。

小林博次委員

どんな物差しをはめて書いたんかわからんけど、普通の物差しのほうがいいのと違う。個人的にはそう思うだけで。

豊田政典委員長

わかりやすく直すべきところは直します。

小林博次委員

文章の中へ全部これを入れ込んでいけばいいわけやね。

豊田政典委員長

文章の中に続けて……。

小林博次委員

そうそう、取り出してこんど。必要なやつは資料として後ろにくっつける。

豊田政典委員長

後ろにくっつけるでしょう。

小林博次委員

そのほうがわかりやすいと思うんや。

豊田政典委員長

今、3番の事業経営の改善策について意見をもらっていますが、その中を一つの文章にしてしまえと、流れとしてね。そういう意見だと思っていいですか。

それを項目分けしているんですけれども、まだ途中なので、全体をわかりやすくせいということですよ。

小林博次委員

そうです。

豊田政典委員長

わかりました。

ほかにどうでしょう。

できれば、この構成でよければ、きょう了解をいただいたら、つくってきますので、これも相談ですけれども、皆さんに集まってもらえば一番いいですけど、時間もないので、任せていただければ一番ありがたい。1人ずつ意見をもらおうと意見が分かるとどうしようもないので。

小林博次委員

ただ、論議の中で（３）のことやけど、例えば観光戦略を論議したわけじゃないので、観光としても利用できるという話はあったと思うんやな。だから、基金でも基金を設置して、どんな基金かどうやってするのか、ようわからんけど、そういうことを論議したわけではないので、ただそういう必要性があるという問題提起なら、それはそうやわなということになると思うんやけどということです。

豊田政典委員長

その辺、言葉遣いももう一度考えてみます。観光的側面からアプローチみたいな、それで存続をとということですよね。おっしゃるとおりです。

じゃ、（３）についてもそのあたりの説明文を書き加え、また、言葉遣いについてもより現実に近いものにかえていきたいと思います。

ほかに４番の委員会の調査研究のまとめ全般について、まとめ方でご意見があれば。

（なし）

豊田政典委員長

なければ、基本的にはまとめ方はこのまま行かまして、文章を任せていただけますでしょうか。

（異議なし）

豊田政典委員長

ありがとうございます。

それでは、５番目、最後のところ、ここが要相談なんです、前回の委員会のまとめになっている形です。

全体、後で読んでもらいますが、５番、委員会からの提言ということで、４行にわたって文章をまず置きました。それ以降、路線の方向性から分類して市税投入まで、そういう分け方になっています。

それぞれ見ていただいてわかるように、集約意見というのが１番から次のページの７番まで書いてみました。そこに集約まで至っていない意見として委員の個別意見というのを

のところと、は全体的に個別意見ですという分け方をしました。それから、には
附帯意見というのを一番下につけてみました。

よく思い出していただきたいんですが、集約意見の部分で七つありますけど、全てきち
んと確認したわけではありませんが、おおむね集約されたのかなという私の勝手な印象で
集約意見というふうに書いてありますので、そのあたり、よくよく意見をいただきたいな
と思いますから、5番のところを今から黙読をお願いします。

大体終わりましたでしょうか。

それでは、読んでいただいたと思いますので、いろいろご意見があると思いますので、
出していただきたいと思います。

小林博次委員

文章のまとめのところのページがないな。の議会への提案、これは必要がないのでは
ないかと思うね。

それから、委員の個別意見って二つ書いてあるんやけど、これも紛らわしいと思うので、
議論の過程の話やから、文章のまとめの本文の中に全部集約できるのではないかと思う。

それから、その下のほうの委員の個別意見で、途中経過で出た意見がずっと書いてある
んやけど、議論しておって別の人の意見がいいなと思えばその意見は消えているわけや
から、だから、個別意見をこんなふうに書くと語弊が生まれる可能性が強いので、これは削
除したほうがいいと思うよ。例えば、廃線もやむなしということを含めて腹をくくらな
ければならないと書いてあるんやけど、これは前提があるわけで。そうすると、ここにこれ
だけ載せておくのは不適當やと思うので、削除したほうがいいと思う。

諸岡 覚委員

それは。

小林博次委員

か。委員の個別意見は5番か、これ。

豊田政典委員長

がいろいろ意見があると思うので、まず、へ行かせてくださいね。

については、そのものが要らないということ。

小林博次委員

やろう。

豊田政典委員長

議会への提案、関連ということかなと思うんですけども。

諸岡 覚委員

ぱっと読んだとき議会への提案というタイトルが、この委員会から議会への提案かなと思って読んだらそうじゃなかったですね。だから、どうせ書くんやったら、私はこれはこれであってええと思うんですけども、行政と議会との連携みたいな何かそんなタイトルにして、行政はもう少し議会と密に連絡をとりながらという文章はこのままでいいんですけども、この議会への提案という言葉のイメージがちょっと私は違うイメージでってしまいました。

それで、同じく、今、小林委員が言われた委員の個別意見のところは、そうするとまた趣旨が違ってくるのかなと。この意見はどこか別のところに入れていいんやけれども、ことは趣旨が違ってくるのかなという気がします。

以上です。

豊田政典委員長

というご意見ですが、確かにタイトルはこれでは誤解が生じるので、今言ってもらったのは、ですけど、行政と議会との連携というタイトルにしておいて、集約意見7はこれでいいんじゃないかという意見をいただきましたが、ここの部分、ほかの方、意見。個別は後で考えます。集約7のところ、タイトルをかえて残したらどうだと、いやいや、そうじゃないというところですけど。

小林博次委員

ひっかかっておるんやけど、例えば5、委員会からの提言って書いてあるんやけど、報告書そのものが提言になるわけやから、わざわざこういうタイトルは不必要やと思うんや。

豊田政典委員長

それも考えたんですけど、その前が……。

小林博次委員

もうちょっと別の表現にならんか。

豊田政典委員長

表現ね。

小林博次委員

頭のいいところで考えて。

豊田政典委員長

じゃ、そこからいきましょう。

4番が委員会の調査研究のまとめというふうに置いていました、さっきのところ。そうすると、5番は何てすればいいのかなと思って。今、こうなっていますが。

小林博次委員

書いてありますやん、委員会の調査研究を終えるに当たりと書いてあるやん、その下に。まとめですやん。

豊田政典委員長

じゃ、例えば、調査研究を終えるに当たりという、そんなタイトル。どうしよう。何かいい言葉はないですか、5番全体。

伊藤 元委員

考察。

豊田政典委員長

考察。

小林博次委員

それもいいわな。

豊田政典委員長

考察という修正案ですけどどうでしょう。どんどん言ってもらわないと、私もまとめようがないので、皆さんの名前も載りますので、ご意見を出してください。5番の大タイトル、考察という案が出ました。ちょっと違うような気もするんですけど。

諸岡 覚委員

ちょっと違いますね。

豊田政典委員長

その前が調査研究のまとめなんです、4番が。

諸岡 覚委員

ただ、今、小林委員が言われたのは確かにそのとおりで、報告書自体が本来提言なんだからというのは確かにおっしゃるとおりかなと思ったので、何かしらタイトルはかえたほうがええんかなという気は正直しますね。何がいいかわからんけど。

豊田政典委員長

最初は委員会からの意見ってしておったんですよ。それも何か変な間抜けな言葉かなと思って。

提言でいいではないか、手を挙げて言うてくださいね。伊藤委員。

伊藤 元委員

ちょっと考え過ぎかなと思って、僕はもう提言でいいかなと思いますけど。

豊田政典委員長

どうでしょうか。

土井委員、何かないですか。

小林博次委員

提言になるから、これ1から5ぐらいまで項目を分けて議論を書いてあるんやけど、これ、実は全体の一つの流れの中で議論を集約して報告文書にしていくと、表題の提言が変化する可能性があると思うよな。分けると分けようがないから提言になったりするの。その一つ一つがなるほどなと思えないところもあるので、やっぱり文章的につながったほうが報告書の中身にはふさわしいと思うんやけど。だから、そんな意見を踏まえて、また当局と打ち合せをして修正して、この次、出してもらおうとありがたい。

豊田政典委員長

難しいな、もうちょっと意見をもらっておきます、ほかの方も。

中川委員、どうですか。

中川雅晶委員

提言となればある程度方向性をこうしたほうがいいですよと、語尾はいろいろニュアンスがあるかもしれないですけど、ただ、中身を読んでいると課題の部分もあたりとかするので、どういう文言がいいのかはわかりませんけどというのが1点と、例えば課題の部分かもしれないですけど、前半で事業形態のところ、公有民営とかという言葉を出して、公有にするに当たっての投げかけという部分とか整理という部分というのを出しておかなかったらまずいのかなと思ったりしたんですが、ただ、委員会としてのまとめ、例えば提言となるとそこまで言っているわけではないので、委員会として、それは出すべきではないと思うし、いや、議論をした結果として課題としてこういうものというのであればその辺も委員会として出さなければいけないのかなというところ、ちょっとまとまらないんですよ、済みません。

森 智広副委員長

意見でいいですか。これ、意見しか書いていないので。

豊田政典委員長

委員会からの意見。

石川善己委員

僕は単純にまとめでいいと思う。

豊田政典委員長

まとめ、なるほど。それ、ええかわからん。

伊藤 元委員

私も4番のところが委員会の調査研究のまとめになっておるもので、そうするとまとめでまとめって使うのは変かなと思っておったんだけど、4番のところをちょっとかえることによって、5番はまとめってして出したらどうなんかなという気がするんですけども。

豊田政典委員長

その線で私も傾いてきましたが、4番は例えばどうすればいいですか。

森 智広副委員長

まとめを取るということですね。まとめを取って、この下に(1)とタイトルの間に以下にまとめたみたいに行けばいい。

豊田政典委員長

わからん、ちゃんと言うてください。4番はそのまま。

森 智広副委員長

委員会の調査研究でいいですか。

豊田政典委員長

4番が委員会の調査研究としておいて、5番が。

森 智広副委員長

済みません、そこかもわからないですけど、タイトルの間に以下のふうにまとめた文を挟むみたいなの。

豊田政典委員長

4 番ね。5 番は。

石川善己委員

おわりか後書き。

豊田政典委員長

そんな感じになる。

森 智広副委員長

まとめ。

小林博次委員

これを読むと、何か 4、5 は一つの文章ですよ。分けるから変な気になる。

豊田政典委員長

そうなんですけど。

森 智広副委員長

まとめでいいんじゃないですか。

豊田政典委員長

じゃ、これでどうだと、今の意見を。4 番は委員会の調査研究として、その次の文章に委員会の調査研究を次のようにまとめましたという文章を 1 文入れる。5 番はタイトルをかえまして、まとめとする。それでいいですか。

(異議なし)

豊田政典委員長

ありがとうございました。

それで、今から休憩して、中身はいろいろ議論があると思います。さっき 小林委員が言われたやつも含めて。

休憩中もう一回熟読いただいて、意見を出していただいてまとめて集約していきたいと思いますので、40分再開をお願いします。

14:25 休憩

14:42 再開

豊田政典委員長

それでは、時間が参りましたので委員会を再開いたします。

休憩前にもいただきましたが、改めて5番のまとめ方について全体的な意見、それから、個別の意見に対してこれはどうだとかいう意見、いろいろあると思いますので、伺いたいと思いますがどうでしょう。

まず、全体の構成のところから伺っていきたいと思いますけど。

諸岡 覚委員

まずは、委員長のおまとめの配慮に感謝をします。

構成なんですけれども、市の負担と市の税投入って何か本質的に違うのかなという。市の負担と市税投入というのは一緒なんじゃないのかなという気がしたんですが、どうなんでしょう。あえて分けた理由というのがよくわからんですけど。

豊田政典委員長

言葉的に一緒ですね。ただ、は内容が交渉に対するこちらの思いというか要請みたいな感じですね。はもしも市税を投入することになったらこういう意見だというのを羅列した形になっていますね。

そうしたら、一緒にできやんことはないかもわからんな。

諸岡 覚委員

そうすると、例えば の市の負担を と合体させて一番最後に持って行って、タイトルはそのまま市の負担ということにして、それで前段に を入れて、入れた上で最後にその他委員の個別意見みたいな、くっつけてしまったほうがきれいかなということと、もう一つ、同じく のところで、一番最後の近鉄から市にもらってもいいぐらいだという、この表現、全体的に見ると、この文章だけやけに言葉遣いに何か違和感を感じたんですけど、ここをもう少し何か。ここだけ言葉遣いが荒っぽい感じになっておるもので。

豊田政典委員長

個々の意見は今は預らせておいてください、後でやりますので。

構成について休憩中も意見をいただいておりますので、中川委員、指名させていただきます。

中川雅晶委員

5番の委員としてのまとめというところは、4番の委員会の調査研究というのと連動する部分もあるのかなって思っているんですが、 の路線の方向性という、鉄道として存続とする方向で継続協議をすると、交渉を行っていくことというのは一番集約されている部分で、この中には、 の国とか三重県からの補助というのは、これはもう当たり前の話で、最大限それを活用するというか、また求めていくという。

あと、4番の調査研究の中で事業経営の主体とか形態のあり方を研究してきたところの部分がこの辺のところに入っていないので、当然補助を使って、でも、近鉄が鉄道として存続が不可能やとなった場合には、公有民営とかという部分も論点に入れていかなきゃいけないのかなって言っていたんですが、となると、それはどういう経営のあり方によってあとの市税の投入であったりとか、その経営の内容であったりとかという部分も計画案等も とか とかというのかわってくるので、こうやって項目ごとに書く方法がいいのか、一括して文章として書くほうがいいのか。

ただ、ずっと文章で書いていくと、論点の整理がなかなか難しくなってきた、それが一つの意見のような形に捉えられる可能性もあるので、項目別に分けたほうが確かに論点は

わかりやすくなるのかもしれないですけど、逆に分けることによってバラバラになってしまうという可能性もあるのかなとさっきは話をしていたので。

最後の市税投入については、これはまだ結論が出た話ではないので、そういう理解を求める努力をしなければいけないとか、また、市民の方に対してはそういうこともあり得るよというようなことを書かざるを得ないのかなというふうに思います。

豊田政典委員長

今いただいた意見で私が思ったのは、小林委員も少し言っていたように、5番だけで考えても流れがないと、分断されていますから。例えば、まず の路線の方向性についてはこれで集約できると思うんです、最初からそうなので。その次に、形態については議論してきたけれども、公有民営というのが近鉄の考えであると。その次に、であるならば、交渉過程であったり、その結果、補助を国から三重県からもらう、なるべくもらう必要があるというような流れになって、その後に議会に提案する場面が来るんですけども、

が来て、議会に提案する際にはこんな内容も提案してくれ、そして、市税投入、市の負担が出る場合にはいろんな意見が今のところはあってという流れをつくったほうがいいんじゃないかというふうには思っているんです。

土井数馬委員

私もその意見に賛成なんですけれども、この書き方に集約意見1とか7ぐらいまであるんですけども、あくまで委員会でまとめて報告が出るのであれば当然集約した意見やろうと思うわけで、その中で、最後に委員の個別のこういうのもあったという書き方ならいいですけども、ランダムに入ってきておるもので、ごっちゃになってしまうおそれもある。委員会で集約されたのと委員の個別の意見がごっちゃにならへんやろうかと思って、そこを心配するところで、思い切って委員の個別意見というのは全部取ってもいいんじゃないかとも思うし、特に最後の市税投入については、当委員会では市税投入に関する意見集約は行わないことにしたというのであれば、もう下は要らんのやないかと思う。

あとのまとめ方は、その辺はまたお任せしますけれども、今言いましたように流れ的にはやっぱりぶつ切りせずについて、今言いましたようにあくまでも委員会としてのまとめですので、集約意見というのは当たり前やと思いますので、個別の意見をもし書くにしても、最後のほうにこんな意見もあったぐらいの書き方しかだめなんじゃないかなと私自身

は思いましたけれども、意見ですけれども。

豊田政典委員長

今、構成についていろいろ意見をいただいていますので、引き続き意見を出してください。

森 智広副委員長

私も土井委員の意見に賛同で、例えば、割愛するのはちょっと乱暴かなと思うので、同列で記載すること自体は議論をそもそもしていないので までにしておいて、レベル感をかえてこの市税投入の部分については最後に書くというほうがいいと思います。

豊田政典委員長

わかりますか。

森 智広副委員長

そもそも議論していない。

豊田政典委員長

の扱いは別にしたり、個別の意見の扱いを別にして、 から の部分の集約意見と書いたやつは、皆さんがそれでいいんだということであれば、文章として流れをつくって文章化すると。ここまでがまとめだよ。その後、 のところなんかは意見が分かれていますから、委員間議論もしていないので、ここは少しこれをいじる形で集約していない意見として最後に持ってくる。 から までは流れの文章をつくと。そんな意見だと思いますが。

小林博次委員

その意見に賛成。

ただ、これを読んでもらうとわかるんやけど、 の意見の集約では、市は鉄道として存続の方向で近鉄と協議せいと書いてあるわね。2番目に行くと、その場合、できるだけ市の負担を最小化するように交渉せいと書いてあるわけやね。3番目は、現状3億円の赤字、

それがゼロになるなら近鉄は土地、線路敷きを市に譲渡せいと書いてあるわけ。その下は10年間で30億円ぐらいもらってもいいやろうと書いてある、その場合ね。そうすると、一つの方向がこれで出てしまうんやね、これで。こういうことではないので、だから、その辺は配慮して集約してほしいなど。

森 智広副委員長

先ほどの意見の流れですけれども、まとめでまとめるのであれば、個別意見というのは排除したほうがいいかもしれない。

4番に入れられるものは4番に入れるという形で、大きな4番です。調査研究のところに入れていただければいいかなと思います。

豊田政典委員長

そうしたら、まず、構成をし直すとして、さっき私が言って、副委員長も言っていた、土井委員も言っていたようなつくりかえということによろしいですか。

(異議なし)

豊田政典委員長

今から意見の部分で、これは切ったほうがいいとか、私が言ったけど間違っているとかいうのがあれば出してください。

今言われたので、の委員の個別意見で、近鉄は3億円であるとか、30億円とあるやつ、この扱いについて決めていきたいと思いますが、どうしましょう。集約部分には入れません、もちろん。が、消すのか、最後に持っていくのかというところです。

芳野正英委員

集約を5ですとすると、その集約意見を1から7までとかまとめてされて、さっき諸岡委員が言ったように、5のとというのとは似たような、要は市の負担をどうするかという部分で、悩ましいんですけど、委員会としてやってきた中での意見なので、補論というか、補足とかつけて、こういう意見も出ましたという個別、あくまで集約したのとは別でというような形で立てるかかなと思いますけど。

構成としてはまとめて終えたいところなんですけど、委員会として出た意見を全くばっさり切ってしまうのもあれかなと思いますし、逆に報告書を見ながら、市民からこんな意見とか、こんな視点があるじゃないかという幅の広さを持たすためにも補足という形でつけておくというのもどうかと思いますけど。

豊田政典委員長

今投げかけた5番の左のページの近鉄は現状の赤字がという意見と、その下の10年間で30億円という意見についても、最後の補論という補う議論みたいなところに残したらどうだという意見ですね。

芳野正英委員

6とか。

豊田政典委員長

6を立てるの。

5、まとめ、6、補論。補論という言葉はあるのかな。

別立てでこの も一緒に持っていったらどうだということですか、5の も。

諸岡 覚委員

素直に、5でまとめじゃないですか。この から まで書いて、この のところは1行だけにしておいて、この二つ、上の1行だけ残しておいて、この二つは一回削って、 の中に含ませてしまって、 から で一旦終わって、 から まで終わって、最後に、上記以外にも以下のような意見があったことを付記しておくぐらいでどうなんでしょうか。別にそれが委員会の総意でも何でもないわけで、以下のような意見があったことを付記しておくぐらいでざっと羅列して書いておけば。

豊田政典委員長

それは5の中で。

諸岡 覚委員

5とかもう番号をつけずに。

豊田政典委員長

5、まとめの中で。

諸岡 覚委員

5、まとめの中の で一応終わるんですよ。 で終わって、最後に以下のような意見もあったことを付記しておくぐらいで。

豊田政典委員長

じゃ、構成の話ですけど、そんな形でどうでしょう。いいですか。

(異議なし)

豊田政典委員長

とりあえず構成はね。

その中で、それじゃ、もう一回聞きますが、左ページの委員の個別意見、近鉄はというやつと10年間で30億円ってやつは、その付記しておく意見の中に残すというのはお二人の意見。

諸岡 覚委員

ついでに のJRのLRTとか、もう一つありますよね。この辺もその他意見のところに混ぜ込む。

豊田政典委員長

付記のところに持っていくという意見が出ました。

森 智広副委員長

僕はLRTに関しては、4の調査研究の部分でLRTの項目があるので、ここで入れたほうがいいと思いますし、あと、 の個別意見と と の個別意見ってレベル感が違うと

思うので……。

豊田政典委員長

もう一回言って。

森 智広副委員長

まず、 の L R T の話というのは、大きな 4 の調査研究の部分で、大きな 4 の (4) の
が L R T って取り上げているので、ここに入れてもいいのかなとは思いますが。上に入れ
られるやつは上に入れたほうがいいと思いますし。

それが一つと、個人的意見なんですけど、 と の意見と の個別意見ってレベル感が
違うと思うんですけど、それを一緒くたにしていいと言うなら、発言されている方がいい
と言うならいいんですけど、何かレベル感が違うので雑多な感じになってしまいますけど、
それはいいんですかね。僕はもう分けたほうが、分けるというか の個別意見だけで。 4
番に吸収できないような意見はもう でも……。

豊田政典委員長

はっきり言って。

森 智広副委員長

調査研究のところで吸収できない個別意見、 以外の、については、もう削ってもいい
かなとは思うんですけど。

豊田政典委員長

二つ言ってもらったと思うんですけど、まず、 の一つ目の L R T 化の部分は、大きな
4 番の、今からつくる未作成の部分の L R T 、ここでやりとりの中で書けると思うんで
す。そこに入れ込むことで了解いただければ、そうさせてもらいたいと思いますが。

諸岡 覚委員

この L R T については、今、森副委員長がおっしゃった部分も確かにあるんだけど、
あくまでもこれは近鉄内部・八王子線の報告書なのであって、ここに書いてあるのは四日

市駅から市立四日市病院までという全く別の新規でつくろうぜという議論なので、論点が大分ずれておるのかなという気がするんですけども。L R Tについても勉強して検討しようぜという意見だけなら、それは真っ当な意見だと思うんですけども。

豊田政典委員長

ただ、これは4番の(4)というのは、環境整備というタイトルで将来にわたって路線を維持発展させるために、こんなことを将来的に考えたらどうだという中で、L R Tもあるし、デュアル・モード・ビークルもあるし、高架化もあると。それで、資料がありますよね。将来的に維持発展していくための意見ですから、それは4番ではカバーできるんじゃない。

諸岡 覚委員

わかりました。

豊田政典委員長

で、移してもいいかどうかというところです。ここだけです、今、L R T。
森康哲委員、どうですか。

森 康哲委員

全然それで、移してわかりやすくなるので。

豊田政典委員長

じゃ、今やっているのは、5、まとめの のところの委員の個別意見の中のJ R 四日市駅からL R T化も検討すべきというやつは、大きな4の L R Tのところに吸収させて移動させてもらうということにしたいと思います。

それから、森副委員長がもう一個言われたやつを私なりにはっきりと言うと、5のまとめの中の 市の負担の個別意見は二つあります。近鉄は3億円とか10年間で30億円、これは切ったらどうだと言ったと思うんですけど。

小林博次委員

その辺の意見の少し前ぐらいからに関連するけど、例えば 市の負担の中で近鉄との協議において市の負担をできるだけ最小限に、 が市税投入やろう。市の負担は別に近鉄と協議して何かして負担だけと違うので、例えば西日野駅なんかは、駐輪場や駐車場やそういう整備はどっちにしてもしていく予算の方向を出しているわけで、市がサボってやらんけど。だから、市の負担の話でいくとこれだけの負担の話ではないと、別のこともあるので。だから、個別に書くにしても、もう少し正確にしてほしいと。

それと、もう一つは、ここでいろいろさまざまな意見を聞いておいて、あと委員長と副委員長と事務局とできれば行政側も入れて、文章について間違いとか誤記がないとか、そういう精査をしてもらうほうがええのと違うかな。文章を1個まとめてしまうと、つじつまが合わなくなったりするとかえってまずいので、だから、そういう整理の仕方をしてもらうとありがたいと思う。ここはもう言いっ放しにしてもらって。

豊田政典委員長

じゃ、後段部分はそのように相談しながらつくってみます。

ちょっと話はかわりますが、実は、NHK四日市さんが傍聴に入られて、撮影をしたいという申し入れを受けておりますが、これを許していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

じゃ、どうぞ。

それで、話を戻しますが、そんなことでいいの。個別意見を今見ていますけど、左ページの二つの意見は切ったらどうだという意見ですよ。

(発言する者あり)

豊田政典委員長

もう一回言いましょうか。

今、個別意見の中の5のまとめの中の 市の負担のというところに書いてある委員の個

別意見、近鉄は現状の赤字が約3億円でありという文章、意見、それから、その下の10年間で30億円をとという意見、これは議論の途中の意見だったので思い切って削除したらどうだという意見です。

小林博次委員

削除したほうがいいやろうな。

芳野正英委員

削除の方向でお願いします。別に悪いというわけじゃないんですけどね。

豊田政典委員長

うなずいている方も多いんですが、発言者の方も含めてよろしいですか。

(異議なし)

豊田政典委員長

じゃ、この二つは削除。

それから、あと出ていたのは、小林委員が言っていた右ページ、原文では議会への提案というところの下の委員の個別意見の二つ目、市は三重県、商工会議所云々という文章、この扱いですけれども、どうしましょう。

小林博次委員

個別意見はみんな外したほうがいいっていうことやろ。

豊田政典委員長

までやね。

小林博次委員

ややこしいもん。

豊田政典委員長

消しますか。

副委員長もそんな意見やと思いますが、消す方向でよろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

じゃ、消します。

原文の までは整理できました。

については、先ほど諸岡委員のほうで大きな5の中に、最後に以下のような委員意見があったことを付記しておきます。

諸岡 覚委員

おまけレベルでということになるかな。

豊田政典委員長

というような文章を書いて箇条書きするという意見でありまして、その中で幾つか、8個の意見があります。その中で小林委員が休憩前に言ってもらったやつは腹をくくるやつ、一番上、これは前回の議論の途中で出された意見なので消したらどうだという意見だったと私は理解しましたが、このことについて決めていきたいと思います。どうしましょう。

小林博次委員

腹をくくるというところやな。

豊田政典委員長

今はね。

中川雅晶委員

今、ずっと議論されていて、鉄道の方で行くことを決めてくださいよと。市の負担をなるべく最小限に抑えてくださいねと。もちろん補助を使ってやってくださいねという流

れだと、今までと同じことなので、結局何の議論をしてきたのか全然わからない。1周回してもとの位置という感じの報告になるのではないかなと思います、もうちょっと踏み込んだほうがいいんじゃないかなという部分があるかな。

それが、済みません、4番の書き方がまだ途中で終わっているので、4番をどれだけ細かく論点を明確にしてこれだけ課題があると。今、現状はこうやということを明確にされるのであれば、そのまとめはもういいかなとは思いますが、じゃ、まとめというか提言に近いまとめには余りないのかなと思うんですけど。

済みません、もとに戻したらいいかな。

豊田政典委員長

もとに戻ったんやね、今。

中川雅晶委員

書き方はあるかもしれないですけど、鉄道で残していくと。あくまでも近鉄はややBRT化、鉄道で残すなら公有民営でお願いしますねと言っているわけで、鉄道として残す方法としては、現状であれば毎年毎年3億円の運営費補助をし続けるという選択肢なのか、いや、公有民営を選択した場合、もしくは、BRTを選択するのか、もしくは、鉄道として残すというのを前提で書いてあるのであれば、公有民営という方向性となれば公有民営の仕方、100%近鉄の子会社にするのか、もしくは、第三者譲渡をしていくのか。第三者譲渡をしていくのであれば、いろんな経営的な努力もしなきゃいけないし、最終的に運賃も今以上の4番で言われているような部分を含めて、どういう経営計画でやっていくかというのを示されているのを、議会にはもちろん、議会と市民に明確にして進めていただくということと、当然それに当たっては、市税の市の財政負担をどれぐらいしていかなくちゃいけないという課題があるということを明記するというようなことぐらいは、最低明記せんと。

豊田政典委員長

それは書くんですよ、文章にして。

中川雅晶委員

そこをずっと流れで書いてもらうわけですね。

豊田政典委員長

書きますね。書いてくれる。

中川雅晶委員

お願いします。

豊田政典委員長

その上で。

中川雅晶委員

その上で、そういう流れも細かく明確に書いていただくというのであれば、別に私はそれで反対するものでも何でもないんですけど。

ただ、今言った項目別に路線の方向性、市の負担、補助という形で書いていくと、今の議論の中やったら余り何もなく、そのままの今までどおりのまとめかなと。

豊田政典委員長

今までどおり。

中川雅晶委員

今までどおりというか、議論してきた内容がまとめの中に反映されていないんじゃないかなと思っただけで。

豊田政典委員長

削り過ぎると1年前に戻っちゃうんじゃないか。

今、手を挙げてみえた方はおったかな。

土井数馬委員

個別の意見のところですけども、今も中川委員がおっしゃったように路線の方向性は

鉄道として残していくという最後の集約ができた過程で出てきた意見じゃないかなと思うんですけども、分けて書くと個別の意見としてこんな話もある。ここで集約したのに、まだこんなことを言うておるのかというような話になってくるので、どこで出た意見なのか、わからんわけですよ、こうやって箇条書きで書いてあると。委員会で集約したのに、まだ個別の意見でこうやって出てくると、何しておったんやという話になるので、その辺の扱いはちょっと慎重にやってもらわないといかんかなと思うんですけどもね。

豊田政典委員長

どうしたらいいですか。

土井数馬委員

なくす。

豊田政典委員長

どれ、一番上の意見。

土井数馬委員

だから、項目によってスクールバスでの対応というのもおかしな話で、電車で行くと決めておるのに、いつ出た話なんやという話やわね。これが集約できてからこれが出たんであればもっとおかしいし、ゼロベースで考えるべきと私は思う。委員会としては、集約したわけでしょう。この意見がどこで出たかわからんですよ。まだ集約する過程で出てきたのであれば、こういう意見もあるやろうですけども。それは書いてないですから。鉄道で残すんやって意見が一致したのに、またこんなんが出てくるとようわからん委員会になりますわね、まとめとしては。

豊田政典委員長

今、の委員の個別意見のうちの一つ目と二つ目だと思うんです。議論の分かれるところは、残すかどうか。土井委員の意見を私なりに言いかえると、削除したほうがいいんじゃないかという意見だったと思うんですけど、このことについてどうでしょう。

森 康哲委員

私も土井委員と全く同じで、まとめの中で個別意見というのがまた出てくること自体も違和感が出てきたと思うので、この辺、皆さんのご意見を聞きながらやっていかんといかんのかなと。

豊田政典委員長

あとのやつは、今後判断する際にはとかいう意見ですね。ちょっと色合いは薄いと、三つ目、四つ目、五つ目ぐらいは。

一つ目、二つ目は、かなり色合いが濃いですね。集約意見と違ってきている。切るかどうか。

切ったほうがいいという意見が複数出ていますが、ほかの方はどうですか。

諸岡 覚委員

まず、大前提の部分で鉄道存続という部分で言うと、委員会の多数意見としては存続ということで決まってきたと。これは間違いのない事実なんですよ。ただ、総意ではなかったはずなんですよ。私は最初から終始多角的なものを見方をしたほうがいいと。鉄道存続に反対するつもりは全くないけれども、そこに固執する必要はないんじゃないかという意見をずっと言い続けてきて、あくまで多数意見としては固執すべきだという意見だったけれども。

だから、ここで削るなら削るで私は構わないですよ。構わないんだけど、だったら、個別意見は全部削ると。気に入らん意見だけ削るというのは、それはちょっとおかしいと思うんですよ。載せるなら全部載せるべきだし、個別意見はもう一切載せやんとうございことであれば、私は全部載せやんように、それはそれで構わないです。ただ、そぐわんからこの意見は削ろうと、それはちょっと違う、数の横暴なんじゃないのかなという気がします。

土井数馬委員

さっきも言いましたけど、そぐわんからというふうな考え方じゃないわけで、この集約の過程でこの話が出てきたのか、あるいは、終わってから出てきたのであれば、委員長、副委員長が汗をかいてまとめてもらったにしましては、ちょっとどうかなと考える部分がある

し、今、諸岡委員がおっしゃったように、消すなら僕は個人の意見は全部消したほうがいいなとはもう最初から思っておるわけで。

諸岡 覚委員

私自身はどうしてもこれを載せやなあかんとまで言うつもりはないので、ただ、個別意見は全部載せやんと言うのであれば、1ページ目からずっとどこかにもあったような気がするけど、個別意見はここから全部削除という方向でまとめられたらどうかなと思います。

小林博次委員

その案に賛成やね。委員会で論議して何がしかの方向性が出ているわけやから、それを言葉で表現してまとめの文章にしていく。そういうやり方のほうが妥当性があるんじゃないのかなと。

言っておくけど、個別意見でどうしても載せると言うなら、勉強会の中で出ていましたけど、外国は民間で公共輸送をやっているというのはおかしいと、やってないと。日本は民間でやっているのはおかしいというから、その案には乗れるので、じゃ、赤字の部分だけ行政と言わんと黒字の部分も含めて法制度を整備して対応してほしいと。こういう意見を僕は出しておるので、これは入っていないんやけど。どうしても出すなら書いておいてほしいな、笑っておるけど。

豊田政典委員長

そうしたら、ほかにこの件について意見はありますか。

(なし)

豊田政典委員長

それでは、個別意見は第一次報告書からは消す。ただし、記録としては各回のまとめを事務局さんにつくってもらっています。前回のやつもまだ配っていませんが、既に案はできていますので、皆さんの意見は載っていますので、それは残ります、委員会の記録としてね。

ということから、報告書からは個別意見は切る。この線でどうでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

ありがとうございます。

それでは、一通り決めていただきました。中川委員もこだわっていただいたところの5のまとめのところの から 、全体の文章を今から作り直しますが、この素案は僕1人で書いてやっていましたが、小林委員に言ってもらったように、副委員長と私と、それから、都市整備部と相談しながら作りたいと思います、きょうの意見をいただいてね。

時間的に任せてもらえば一番ありがたいです。そうじゃないならば、もう一回集まってもらいたいです。どっちにしましょうか。

(「一任」と呼ぶ者あり)

小林博次委員

持ち回りでもいいでさ……。

豊田政典委員長

持ち回りやと、例えば小林委員はこれを直せって来ますやん。加藤委員は違うところを直せと来ますやん。どうやって集約したらいいかわからないですわ。

どうでしょう。一任でお願いできませんか。

小林博次委員

この文章を見るとずっと誘導されているように見えるんやな。だから、別にそのことがあかんと言うておるわけじゃないんやけど。

豊田政典委員長

そうしたら、もう一回集まってくれませんか、早い時間に。

小林博次委員

よう集まらんけど。

豊田政典委員長

30分集まってくれませんか、30分。

早目に配ったやつを読んでもらって、ある日30分とってくれば、ありがたいんですけど。

諸岡 覚委員

事前に配付いただけるんですか。

豊田政典委員長

事前に配付します。次回6月4日ですが、それでは遅いので、5月中に30分の会議を持たせてください。

予定はありますか。今から言います。

諸岡 覚委員

5月の開会議会の日には……。

豊田政典委員長

ちょっと待ってくれよ。5月の開会議会。

小林博次委員

いやいや、遅いと早く近鉄内部・八王子線の問題は切り離して報告してやらんと、行政が動けやんと思うので大至急。

豊田政典委員長

大至急なんです。急いで書きますが、皆さん、集まれそうなのが、あした。あした出てきますか。そうしたら、徹夜して書くよ。

5月14日という意見ですけど、もっと前はないかな。

5月7日、議会運営委員会で何人が集まってもらいますけど、どうしよう。ちょっと待

って。5月7日なら何時がいいですか。

(発言する者あり)

豊田政典委員長

9時、5月7日やったら、いつ書くんや、俺。

ちょっとあきません。無理、ごめんなさい。5月7日はちょっと間に合いそうもないので、5月9日でとってもらえるとありがたいんですけど。

9日の朝9時というのはどうでしょう。5月9日の午前、都合悪い方はみえますか。

中川雅晶委員

午前は都合悪いです。

豊田政典委員長

何時からですか。

中川雅晶委員

10時から。

豊田政典委員長

そうしたら、9時から9時50分までというのはどうですか。

諸岡 覚委員

5月10日の朝やったらどうなの。

豊田政典委員長

じゃ、5月10日の午前はどうですか。

小林博次委員

文書の配付はいつあるんや。

豊田政典委員長

文章……。

森 智広副委員長

事前配付がいるんですよね。

豊田政典委員長

それ言って。

森 智広副委員長

文書配付の時間ってどれくらい猶予があったらよろしいですか。

諸岡 覚委員

前日。

森 智広副委員長

お配りするので郵送ですよね。二、三日とらなあかんの、5月14日の開会議会るときではだめですか。

小林博次委員

それでは遅過ぎる。

豊田政典委員長

遅い。そうしたら、いろいろ意見を言っていていますが、5月10日の午前に会議を持つことにして、遅くとも5月9日の午前中に入れます、メールボックス。それでどうですか。

諸岡 覚委員

メールに送ってもらうわけにはいかんの。

豊田政典委員長

メールで送る。皆さん、登録していますか。メールかファクスで5月9日の午前中に皆さんのところに送りますので、読んでいただいて、5月10日の今から決める時間に30分ないし1時間の時間をとらせていただいて確定するというにさせていただくことにして、5月10日の午前中都合悪い方、決まっている方。

中川雅晶委員

10時から監査がある。

豊田政典委員長

そうしたら、5月10日の9時に集まってください。9時から最長9時50分です。

ありがとうございます。

それじゃ、それまでに鋭意作成をさせていただきます。

それじゃ、この第一次報告書（案）についてはここまでとしますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

豊田政典委員長

じゃ、もう少し時間をください。

手元に次の調査研究課題でありますバス交通に関する資料請求というのを配りました。これは、次回6月4日からこのテーマに入っていくんですけども、正副委員長から都市整備部に請求している内容です。

改めて見ますと、議員政策研究会の流れから主な内容としては、市内でコミュニティバスを必要としている市民の皆さんの意見を各議員が聞いていると。ついては、コミュニティバス導入の制度というのが確立していないので研究するとともに、最終的に新規導入の制度の骨子づくりをしたいという分科会からの意見集約がありましたので、そんな研究内容であります。

今、私たち正副委員長から請求しているのは から です。これ以外にあれば、現時点

であれば出していただいて、都市整備部をお願いしていくというのを最後に議題としますので、意見のある方は出してください。

芳野正英委員

ことしに入って新聞報道もあったと思うんですけど、南伊勢町だったかでフルデマンド、要は数時間前までに募集が来たところをルートがもともと決まっていなくて手を挙げたところをぐるっと回るというサービスが、南伊勢町だったと思うんですけど、僕、今は資料を持ってきてなかったんですけど、事業としてあったんじゃないかなと思うんですけど。もしそれがわかれば。

豊田政典委員長

理事者、わかりますか、今。

館都市整備部理事

我々も今情報がございませんので、調べて、もしあればよろしいでしょうか。

芳野正英委員

私も会派の部屋へ戻ればわかるので、それをまたお見せするので、その形式のをお願いします。

豊田政典委員長

芳野委員とすり合わせをしていただいて、用意できるものを用意してください。ほかにありますか。

森 康哲委員

この1番に書いてある市内コミュニティバスというのは、生活バスよっかいちは含んでいるんですか。

館都市整備部理事

生活バスよっかいち及び自主運行バスも含めて現状と課題をお示ししたいと思います。

豊田政典委員長

ほかはどうでしょう。よろしいですか。

諸岡 覚委員

今年度予算のついた社会実験、予算がついていますが、その辺の概要もわかる資料をいただければ。

豊田政典委員長

それはお願いしておきます。

ほかはどうでしょう。

(なし)

豊田政典委員長

それじゃ、今、請求いただいた分を追加として、都市整備部さん、よろしく願いいたします。

それでは、本日のところはここで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

15 : 27 閉議